

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

- <イベントについて> *講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。
*「有料」の表記がないイベントは申込不要です。
*「有料」(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
*「有料」のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開館日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。
*「みんなのイベント」は、博物館の活動を応援して下さる皆さんと一緒に、協力してつくりあげるイベントです。

企画展「Go! Go! 5世紀 一東北地方中・南部の古墳文化―」関連イベント

- 記念講演会 5/14(日)13:30~15:00 講堂 藤澤敦さん(東北大学総合学術博物館教授)
まじないの道具 石製模造品をつくらう
古墳時代のヨロイを着てみよう
展示解説会 各回とも13:30~14:30 企画展示室

キッズ・ファミリー向けイベント

- 子どもミニミニはくぶつかん
博物館でもよみかせ
今年さらさらパージョンアップします!

見たい!知りたい!楽しみたい! 多彩なイベント

- 友の会講演会 博物館友の会令和5年度第1回講演会「平安時代の会津の仏像」
民俗講座 リニューアル記念 部門展示室(民俗)展示解説会
実技講座 ワークショップ 会津唐人和風作り
自然史講座 新種の見つけ方
テーマ展 観劇イベント 「会津唐人の世界」解説会
美術講座 美術放談 第1回「工芸的絵画と絵画的工芸」
みんなのイベント 津軽三味線と各地の民謡

【「なんだべや」ってなんだべや?】
開館以来、「体験学習室」として親しまれてきたお部屋がリニューアルし、「雪国ものづくり広場 なんだべや」として生まれ変わりました。

【4~6月のポイント展】

- これは何の化石? ~5/10
●伝える ー新型コロナウイルス感染症関連資料ー 4/22~5/21
●猪苗代城絵図 6/21~8/21

三の丸からプロジェクト

若松城三の丸にある当館をスタート地点に、会津地域の三つの文化「会津のSAMURAI文化」「若松城下の商工文化」「雪国のくらしものづくり文化」を楽しんでいただくためのプロジェクト。

雪国ものづくりマルシェ2023春



■まちなか連携展示
当館の部門展示室 民俗のリニューアルにあわせ、4/20(木)~5/23(火)にかけて末廣酒造嘉永蔵・竹藤・会津塗伝承館鈴漆器店にて連携展示・イベントを実施します。

2023年4月・5月・6月イベントカレンダー
Calendar grid showing dates and event indicators for April, May, and June 2023.

観覧料
■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)
*こどもの日5/5は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
■企画展観覧料「Go! Go! 5世紀 一東北地方中・南部の古墳文化―」

Map of the museum area showing bus routes and landmarks like JR Aomori Station and the Museum building.

福島県立博物館 Fukushima Museum
開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986

Vol. 15 2023 4月~6月号

福島県立博物館

なじよな Vol. 15 2023 4月~6月号



じか井したー会津木綿の「けんぱく絹」

三の丸からプロジェクト日記 「けんぱく絹」ができました!
伝統的には綿柄が特徴的な会津木綿。三の丸からプロジェクトの一環で、福島県立博物館をイメージした「けんぱく絹」が誕生しました!

Vol. 15 2023 4月~6月号

福島県立博物館

Vol. 15 2023 4月~6月号

春の企画展 「GO!GO!5世紀 一東北地方中・南部の古墳文化一」

会期: 4月29日(土・祝)～7月2日(日)

会場: 企画展示室
観覧料: 一般・大学生1,000円(800円)、高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金
*企画展チケットで常設展もご覧いただけます(会期中一回限り有効)
主催: 福島県立博物館

5世紀に
タイムトラベル!!



企画展「GO!GO!5世紀」の担当は、考古学(古墳時代)が専門の平澤慎学芸員。詳しい話を聞いてみました!

Q. 5世紀の人々の暮らしについて教えてください。

A. この時代の人々は竪穴住居に住んでいました。ただし、縄文時代のものとは違い、現代の住居と同じく箱形(四角形)になりました。食生活は、喜多方市灰塚山古墳から出土した人骨を調べると肉より魚(特に淡水魚)を好んで食べていたようです。外見は、女性だけでなく、男性も髪を伸ばして結んでいたことが埴輪の表現からわかります。当時の人々の生活にもご注目ください。

玉川村江平遺跡 53号住居跡 福島県文化財センター・白河館画像提供



Q. なぜ5世紀に注目しようと思ったのですか?

A. 5世紀は古墳時代の画期のひとつだったと考えています。外国(アジア)を意識し、その文化を受け入れて変化していきました。例えば、それまで高杯という背の高い器に盛ってご飯を食べていたのが、杯という現代でいう茶碗で食べるようになりました。私たちが、新型コロナウイルスの流行で多くの変化を経験しましたが、5世紀の人たちが経験した「新しい生活様式」の中に、私たちにつながる何かがあるかもしれないと思うようになりました。Go!Go!5世紀というタイトルには、古墳文化が全国的に広がり変化していく時代というイメージと、5世紀へ行ってみようという意味を込めています。



中島村四穂田古墳 三角板鍔留短甲 中島村教育委員会蔵・当館寄託

Q. 見に行くのにおすすめの古墳を教えてください。

A. 福島県内には約2200基もの古墳があり、県内のコンビニエンスストアの2倍以上の数になります。今回展示する資料が出土した古墳の中でおすすめは、泉崎村の原山1号墳と国見町の塚野目1号墳です。原山1号墳は、墳丘の近くまで寄って見ることができ、道路を挟んだ向かい側には「はにわの里」という直売所があるのもポイントです。塚野目1号墳は、古墳の頂上に神社がありそこまで登ると古墳の高さを感じることができます。また、古墳の近くには祭祀をおこなった遺跡(矢ノ目遺跡)があります。周辺も歩いてみることで、企画展をより深く味わえると思います。

Q. もし平澤さんが5世紀に行ったら、何をしてみたいですか?

A. 古墳づくりに参加してみたいです。重機がない時代ですので古墳をつくるというのは大仕事でした。どれくらいの人数で力を合わせてつくったのかになります。また、当時の道具が実際にどのように作られ、使われていたのかは見てみたいです。今回の企画展でも、関連イベントとして王様が持っていたヨロイを着てみる体験や、石製模造品というまじないの道具をつくる体験を用意しています。ぜひこちらにもご参加いただき、5世紀を感じてみて欲しいです。

喜多方市灰塚山古墳 現代によみがえった王(東北学院大学社ゼミナール画像提供)



GO!GO!5世紀 東北地方中・南部の古墳文化

Q. たくさんの展示資料から、あえてオススメをあげるとしたら何ですか?

A. 東北地方各地から出土した300点ほどの展示資料がありますが、ひとつは山形県から出土した筑(等のような楽器)状木製品とその復元品です。古墳時代の音楽はどんなものだったのでしょうか。埴輪から挙げるとすれば本宮市から出土したイヌ形埴輪でしょうか。犬は古墳時代でも身近な存在であったことが埴輪からもわかります。カワイイしっぽにも注目です。



本宮市天王塚古墳 イヌ形埴輪 本宮市教育委員会蔵

テーマ展 精緻な技で表現された美しい自然

花をたずねて 一會津ゆかりの漆芸家たち

会期: 4月15日(土)～6月11日(日)

会場: 部門展示室 歴史・美術 *常設展料金でご覧いただけます

春、県博の周りは小彼岸桜で彩られます。展示室にも花をご用意いたしました。関谷浩二、田口義国、田中桃仙、中里壽。会津ゆかりの漆芸家たちの作品に描かれた四季折々の花をお楽しみください。



関谷浩二「蒔絵盤 芽生え」(部分)関谷浩二氏寄贈・当館蔵



田口義国「藤袴絵箱」(部分)当館蔵



田口義国「カサブランカ絵箱」(部分)当館蔵



中里壽「春の小路蒔絵小物箱」(部分)内藤政男氏寄贈・当館蔵



田中桃仙「麦秋蒔絵箱」(部分)当館蔵

テーマ展 個性的な唐人風の世界

会津唐人風の世界

会期: 4月25日(火)～6月25日(日)

展示場所: 展示ロビー *常設展料金でご覧いただけます

会津の唐人風にはさまざまなデザインが見られます。館蔵品を中心に、魅力的な唐人風を10数点ご紹介します。今回が初公開となる風や、彩色前の輪郭を押した風絵もありますよ。



唐人風の古い風絵 個人蔵



職師のものにみられる唐人風(作者不明) 当館蔵



唐人風(鈴木英夫氏作) 当館蔵



唐人風山口雅氏作 当館蔵



唐人風(藤原氏作) 当館蔵

4/6月のテーマ展 *こちらにもご覧ください
「よみがえる会津大塚山古墳」(4月1日～9月3日) 部門展示室 考古
「けんぼく(至)」(6月17日～8月27日) 部門展示室 歴史・美術
*「けんぼく」の至は次号で詳しく紹介します。

展示室に雪が降る!?「部門展示室 民俗」がリニューアル!
4月8日(土)から「部門展示室 民俗」が生まれ変わって再オープンします。
「の丸からフクロ」の一角で、雪国会津の暮らしと手仕事を、映像を交えて体験できます。
詳しくは次号で紹介します。お楽しみに!

なじよなニュース

「これで聞ける!? 恐竜の鳴き声」

当館学芸員の吉田純輝さんをリーダーとする当館と北海道大学、アメリカ自然史博物館との国際共同研究グループが、恐竜ビナコサウルスの化石から、世界初となる「恐竜の喉の化石」を発見しました。実は、映画などで耳にする恐竜の鳴き声は科学的根拠がなく、今まで謎だった恐竜の鳴き声の解明につながる重要な発見です。

吉田さんは、客員研究員としてアメリカ自然史博物館に在籍中、恐竜の「舌」の化石を研究していました。ワニやカメなどの動物の骨を調べた結果、調べていた化石は「舌」ではなく「喉」の骨であることを発見しました。初めて気づいた日は、興奮してなかなか寝付けなかったそうです。

さらに、ビナコサウルスの喉の骨は、鳥の喉の骨と似ていることが分かってきました。他の爬虫類に比べて、鳥はなぜ複雑な音声でコミュニケーションを図ることができるようになったのか。この発見により、恐竜から鳥への進化の謎が少しずつ解明され始めました。

「恐竜の化石という過去の手がかりを得ることで今までわからなかった地球・生命の歴史が分かるようになることは、とても楽しい。」と話すと吉田さん。当館では、学芸員が様々な分野の研究を進めており、最新の成果を展示しています。今後も博物館のイベントや展示にご注目ください。



記者会見の様子



ビナコサウルスの喉の化石の複製

きつねなじよな 『よく見たらスゴイ 編』



フタバスズキリュウ スッキー

原始のお部屋のがんちゃん

1 【流廃寺金銀象嵌鉄剣】

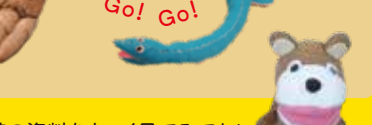
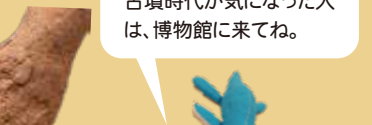
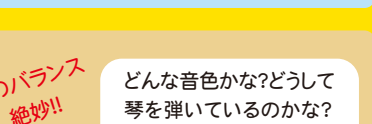
遊楼羅炎(かるらえん)といって、人間の悪い心を焼き清める火の鳥なんだって。



「琴を弾く人」

2 【プラセンチセラ(アンモナイト)】

アンモナイトが住んでいた部屋の形なんだよ。



みんなも、虫の目になって博物館の資料をよ〜く見てみてね!